

受検番号	
------	--

氏名	
----	--

※

--

----- 切り取らないこと -----

令和4年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

※

--

高等学校 家庭 解答例

1	(1) 2×6	①	33 cm	②	頭蓋骨	③	中枢神経
		④	髄液	⑤	大泉門	⑥	小泉門
20点	(2) 3	生まれてから最初の4週。目覚めているときは原始反射などのさまざまな能力を発揮する。また、知覚能力もすでに備わっている。					
	(3) 2・3	アタッチメントとは 生後6～7か月経ってから形成される主に親など親密な人との間に形成される愛着関係。 ----- アタッチメントをはぐくむために大切なことは、養育者と乳児とのスキンシップが多いこと。乳児のさまざまなサインを受けとめることのできる養育者の感性の豊かさ。安定し一貫した養育環境。					

2	(1) 完全解答 2×3	精神的自立	日常にあるさまざまな問題に対して、自分で判断し、責任を持って行動できること。				
		社会的自立	社会の一員として責任ある行動がとれ、人との関わりにおいて合意を形成したり、人間関係を調整したりすることができること。				
		性的自立	自分の性だけでなく、他者の性を尊重した、責任ある行動がとれること。				
(2)	①	女子差別撤廃条約	②	男女雇用機会均等法	③	労働基準法	各2
(3) 4	男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ共に責任を担うべき社会を形成すること						

3	(1)	④	2
	(2) 各2	ア	特徴 厚みがあり蓄熱が可能な屋根や自然素材の壁材など、電気やガスに頼らなくても快適に暮らせる工夫がある
		イ	特徴 瓦屋根を漆喰で固め、台風に備えている。高温多湿のため、開口部が多く、風通しがよい
	(3) 各2	A	住まいを持ちたい人同士が集まり、話し合いを重ねながら建築家と共に作り上げていく集合住宅
		B	自分たち専用の独立した住空間のほかに、団らん室、食事室など暮らしの一部を共同化した空間をもつ集合住宅

(裏面に続く)

4	(1)	窒素	硫黄	(2)	②	各2
	15点	(3)	① ゼラチンの特徴 粉ゼラチンの使用濃度は2～4%である。溶解温度は40～50℃である。ゼラチン液を沸騰させると固まりにくくなる。凝固温度は3～10℃であり、氷水等で冷やさないと固まらない。 ② 寒天の特徴 粉寒天の使用濃度は0.4～1%である。溶解温度は約100℃である。寒天液を煮立たせないと溶けない。凝固温度は28～30℃であり、水道水で冷やしても固まる。 ③ ・調理実習を実施して、生徒に使用濃度を変えたゼラチンゼリーと寒天ゼリーを作らせる。・・・A ・ゼラチンと寒天を溶かす温度を変えて実習する。・・・B ・生徒に、A・Bそれぞれのゼリーの状態を確認させたり、A・Bそれぞれのゼリーを試食させ、食感、味を食べ比べて考察することで、ゼラチンと寒天の特徴について、生徒の理解を図る。			

5	(1)	①	ア	経常	収入	イ	特別	収入	
	14点	①③2	②	税金	社会保険料	③	可処分所得		
	(2)	公正で持続可能な社会							2
(3)	消費者の権利の尊重				消費者の自立支援				各2

6	(1)	a	しつけ	b	1	cm	c	0.2	cm
		d	0.3	cm	e	ゆとり	f	2	cm
		g	割	h	後ろ身ごろ				
	(2)	①	ア	②	オ	③	ウ	各2	
(3)	各1	すべりをよくして着やすくする 組織の粗い布や、透ける布の透過を防ぐ 表布のシルエットをきれいに見せる							